

運営推進会議報告書

第 1 回

地域密着型通所介護

運動器機能向上型通所サービスとれさぼ

合同会社とれさぼ



2024年 3月 22日

地域密着型通所介護 運動器機能向上型通所サービスとれさぼ

議 事 録

日時 :令和 6 年 3 月 14 日(木)13:30~14:30

場所 :運動器機能向上型通所サービスとれさぼ

司会・進行 :事業所管理者

出席者 :3名

※会議関係者

事業所(管理者) 1名	狩野民生委員 1名
南足柄市高齢介護課 担当者 1名	

【議事・議題】

1. 事業所の概要についてお話ししました。以下、会議資料抜粋。

(1) 運営法人

名称	合同会社とれさぼ
代表者	代表社員 金盛 智也
業務執行権	業務執行社員 金盛 智也
所在地と連絡先	神奈川県南足柄市飯沢336番地4号 電話:090-5996-6627

(2) 事業所の情報

① 名称等

名称	運動器機能向上型通所サービスとれさぼ
事業所番号	南足柄市指定:1494300187
所在地と連絡先	南足柄市狩野494番地川下ビル1階 電話:0465-46-6591 FAX:0465-46-6592
管理者	金盛 智也
通常の実施地域	南足柄市
利用定員	10名

② 営業日、営業時間等

営業日	月曜日～金曜日
休業日	日曜日、祝日、GW、盆、年末年始
営業時間	8時30分～17時00分
利用時間	午前 要介護者 9:00～12:00 要支援者 9:30～11:30 午後 要支援者 14:00～16:00

③ 従業者について

職	職務内容	人員数
管理者	従業者及び業務の実施状況の把握その他の業務の管理を一元的におこなうとともに、事業所の従業者に対し遵守すべき事項について指揮命令を行います。	常勤 1名
生活相談員 (介護支援専門員1名) (介護福祉士3名)	利用の申し込みに関わる調整、サービス担当者会議への出席、他の従業者に対する相談助言および技術指導を行い、また他の従業者と協力して計画の作成を行います。	常勤 1名 非常勤 2名
介護職員 (介護福祉士3名) (初任者研修1名) (入門的研修1名) (健康運動指導士2名)	地域密着型通所介護計画に基づき、必要な日常生活上の生活リハビリ、世話、及び移動・移乗の介助を行います。また利用者の機能訓練の見守り業務を行います。	常勤 1名 非常勤 4名
機能訓練指導員 (柔道整復師2名) (鍼灸師1名) (作業療法士1名) (准看護師1名)	日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止するための訓練指導、助言、自主トレの提案、日常生活動作の提案を行います。	非常勤 4名

(3) 事業所の特徴

⇒半日型の機能訓練に特化したデイサービスです。要介護状態であっても、適切に対処すれば、要支援状態や軽度な状態に戻せる状態の利用者の介護予防に尽力する事業所を目指しています。また医療制度では地域市民の方に入院が必要となる病気の発症があった際に、治療が終了となったのちは長くりハビリテーションを受けることができず、早期退院せざるを得ない状況となっています。入院中に介護認定を受けられ、要介護認定になったような方でも適切に機能訓練を行い、介護状態の悪化を防止すれば、要介護状態の悪化を防ぐことはもちろん、少しでも安心して日常生活が過ごせる状態まで介護度を引き下げることができると考えています。

2. 利用状況についてお話しました。以下、会議資料抜粋。

(1) 要介護度別利用者数(42 名)

事業対象者	要支援1	要支援2		
6名	11名	14名		
要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
6名	2名	0名	0名	0名

※現在、順番待ちの利用者が3名(いずれも要介護1の方)

(2) 令和5年9月～令和6年2月の営業日数及び月別利用者数

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
営業日数(日)	20	21	20	20	18	19
延べ利用者数(人)	113	152	160	171	157	191

1日平均(人)	5.65	7.24	8	8.55	8.72	8.68
---------	------	------	---	------	------	------

3. 活動状況の報告についてお話しました。以下、会議資料抜粋。

(1) サービス内容

① 健康チェック

バイタル(血圧、脈拍、体温、動脈血酸素飽和度、疼痛の有無など)を測定します。また場合によっては呼吸数なども測定し、健康状態を把握していきます。また服薬状況や血液検査データを確認し、既往歴や現病歴を把握し、サービス提供中の急変などのリスクマネジメントを行っています。

② 定期的に体力測定や栄養・機能評価

要支援者は1か月に1回、要介護者は3か月に1回定期的に体力測定を行っています。体力測定の項目は握力、片脚立位、CS-30テスト、TUGテスト、5m歩行速度(通常・速歩)、体重測定を行っています。

また場合によっては低栄養の疑いがある方は、簡易栄養評価を行い、食事摂取状況を確認したり、血液検査データから総蛋白、アルブミンの数値などを確認したりして、必要な支援や援助、助言、CMへの連絡をしています。

③ 個別機能訓練

定期的な体力測定や動作分析から、日常生活動作(以下ADL)や手段的日常生活動作(以下IADL)の課題となる身体機能に対し、個別機能訓練を提供しています。筋力の強化はもちろんですが、バランス機能や協調性の訓練。また病気や後遺症からくる動作のエラー(間違った動き)の修正や運動学習を行います。

疾患・病気の症状の特徴から予後の予測を行い、早期から予防を図っていきます。

④ 生活リハビリ

定期的にADLやIADLの評価を行い、現状の生活状況を確認しています。それをもとに必要な日常生活動作の練習をプログラムに取り入れています。例えば、椅子の立ち上がり動作練習や床からの立ち上がりの練習、跨ぎ動作の練習や方向転換の練習など。

⑤ 健康体操

嚙下体操や左右の手を使ったマルチタスク運動などを行ったりしています。また、準備運動として肩甲骨や骨盤を動かすような体操を取り入れ、機能訓練を行う前に動きやすい状態にしてから体を動かしていきます。

またさまざまな運動にマルチタスクや脳を使うような要素を取り入れて脳と体を同時に使うような体操を行っています。

⑥ レクリエーション

レクリエーションとして脳機能を活性化し、身体も動かすような種目を取り入れています。

1～10番まで数字が書かれた番号カードを1m四方の枠に置き、順番に足で踏んで少しでも早く10番のカードを踏むようなレクリエーションや風船バレー、ボッチャなどを行っています。

脳機能の低下は転倒リスクを高めます。例えば認知症の方は転倒リスクが1.74倍になると言われています。

※先日、ハーモニカをボランティアで吹いている利用者の方が皆さんの前でご披露し、一緒に歌を歌っている様子

⑦ 送迎

利用者の送迎を2台の車両で行っています。要介護者に関してはドア to ドアを基本にしていますが、要支援者や事業対象者は、自立支援の観点から利用者の身体状況に応じて介助量を減らし、近くでの見守り⇒遠くからの見守り⇒見守りなし⇒自分で帰宅 と自立(自律)へ向けてスタッフの関わりを減らすようにすることもあります。

自宅での家族の方との挨拶や送迎車での利用者との会話も貴重な情報交換の場であり、体調や心身の状況、「昨日は〇〇があったの」とか「昨日は〇〇に行った」などの話からわかる生活状況もあるため、大切な時間と捉えています。

(2) 介護相談員の受け入れについてお話ししました。以下、会議資料抜粋。 介護相談員の方を定期的にお迎えし風通しの良い事業所にしています。

※1. 介護相談員とは・・・介護サービス相談員は、介護が必要な高齢者の相談に応じることのできる熱意やふさわしい人格を持っていると認められた方で、介護サービス相談員養成研修を修了した方が活動をしています。その後も現任研修を受講し、最新の介護保険制度の情報や認知症の方への対応など、より充実した相談活動になるよう、常にスキルアップをされている。南足柄市では市の委嘱を受け、6名の方が活動しています。

※2. 介護相談員の活動・・・市内の特別養護老人ホームやデイサービスの事業所等に2人1組で訪問されておられ、利用者やスタッフなどから話を聞かれ、不安や普段思っていること、疑問や不満の解決を図って頂いています。

(3) 防災訓練

南足柄市では条例で年に2回の消火訓練を行うことを規定しています。よって、年に2回、避難訓練も併せた防災訓練を行っています。

先日は、消火訓練、避難訓練、通報訓練を含めて行い、実施後は避難方法や避難ルートの課題を上げて、改善に向けて実施報告書をまとめています。また南足柄市消防団第5分団の分団長の方を紹介してもらい、有事の際は連携が取れるようお願いをしております。

そしてサービス提供中に急変で心停止などの事態も想定し AED を設置することとし、令和5年12月より設置しています。

(4) その他:一般介護予防事業(転倒骨折予防事業)

当法人は南足柄市健康づくり課より委託を受け、一般介護予防事業の中のスポーツレーニング教室を開催しています。昨年、当法人の健康運動指導士2名と看護師1名を配置し教室の運営を行い、開催させて頂きました。

健康寿命を延伸し、要介護状態になるのを少しでも遅らせることも介護予防に必要なことだと考えています。

4. 苦情・相談の状況

令和5年11月27日 72歳 脳卒中後遺症(軽度) 男性 Aさん からの苦情

<苦情要旨>

同じ曜日に利用している認知症の方(以下 Bさん)が Aさんの機能訓練中に「そうやるんじゃない! こうやるんだ!」と横から口を出され、Aさんは腹を立てていて、後日、Aさんから相談を受けました。

Bさんはアルツハイマー型認知症であり、失語症、理解力の低下、コミュニケーション能力も低下がみられており、伝えたいことをうまく言葉にして伝えられないことが多くある。

Aさんもそのことは理解されているようだが、それでも腹立たしく納得はされていなかった。

<事実確認と対応>

スタッフに事実確認を行い、確かにそういうことがあったと確認をし、Aさんには解決策として2つ提案した。

① Bさんとの座席の距離を離すこと

② 極力、サービス提供中はお互いのパーソナルスペースが近くならないように Aさんと Bさんの訓練中は近くにならないように配慮すること

以上の対応後、Aさんからも苦情は出ておらず、陰悪な雰囲気などはみられていない。

5. 意見交換(評価・助言・要望等)

3の(1)サービス内容の⑦送迎サービスについて

・高齢介護課の方よりお話を頂きました。

(高齢介護課)

現在、要支援者や総合事業の方の送迎は報酬には実施ありきではないが、令和6年度の法改正により、今後は報酬も改定になるが送迎減算などもあるかとお話がありました。

2の(1)介護度別利用状況について

・民生委員の方から質問がありました。

(民生委員)

事業対象者とはどういう方ですか?

(高齢介護課)

高齢介護課の方より説明がありました。

要支援認定が出ずに非該当の方ですが、それでもサービスを受けたい方が高齢介護課の窓口で基本チェックリストを受けて頂いたうえで一定の点数以上に該当した方で、サービスを受けた方が良いですね。という方が事業対象者になるケースが多いです。または要支援認定が出て

いても自分から事業対象者を選択される方もまれにいらっしゃいます。

・当事業所管理者より高齢介護課の方に質問をしました。

(当事業所管理者)

事業対象者の方は要支援者の方よりは介護度では軽度な方との認識であっていますか？というの、介護度を下げることができれば、利用者も元気になって WIN だし、行政も介護給付費が抑制できて WIN という皆が WIN-WIN になるのではと思うのですが？

(高齢介護課)

そうですね。そのような認識で良いと思います。ただ、事業対象者についてはなかなか制度の敷居が高く、認知もされていない為、今後も運用を検討していかないと考えています。

・民生委員の方より質問を頂きました。

(民生委員)

事業対象者の方も要介護者と同じようにケアプランなどがあるのでしょうか？

(高齢介護課)

そうです。計画を担当するのは地域包括支援センターの方ですが、要介護者の方と同じように計画を立ててサービスを利用して頂くということです。

・民生委員の方より評価を頂きました。

(民生委員)

この地域にこういったサービスを受けられる場所があるのを知れたのは良かった。皆さんにご紹介できる情報が知れて良かった。実際に自宅を訪問しているときも「どっか良いところ知らない？」とか聞かれることもあるので。

4の苦情、相談について

・高齢介護課の方より評価、助言を頂きました。

(高齢介護課)

苦情・相談についてですが、人間なので利用者同士のトラブルなどは他の事業所などでもよく聞かれる事例だと思います。ご対応はよくされておりました。また今後は CM などとも相談をしながら対応をしていただくと良いかと思います。

その他

(高齢介護課)

事故やヒヤリハットなどの状況はいかがでしょう？

(当事業所管理者)

はい。昨年は転倒事故、2件ありました。いずれも骨折や怪我などなく病院を受診するようなケースには至らなかったですが、利用者の方には「翌日や翌々日などに痛みなどが出たらすぐに受診をしてください。」とお伝えしたうえで CM にも連絡し、ご家族にも連絡し、また翌々日に再度、管理者の方から「痛みなど出ていませんか？」と確認をして対応致しました。

(当事業所管理者)

また、ヒヤリハットは7件ありました。職員には常に事故を防ぐ意識を持ってもらいたいのので、“交通事故〇件”などのように件数を見える化して出勤時に確認してもらうような取り組みをしています。

(高齢介護課)

研修やミーティングの実施状況はいかがですか？

(当事業所管理者)

研修については年間スケジュールを作成し、年に数回開催しています。非常勤職員が多いので、皆が集まることは少ないですが、職員が動画視聴をできるように PC を設置して動画視聴できる環境を作っています。

(当事業所管理者)

またミーティングについてですが、当事業所ではチャットワークというアプリを運用しています。チャットワークで情報共有や当日のスケジュール確認などを行って頂くようにしています。また計画書なども確認ができるようにチャットワーク上にデータを上げて運用しています。セキュリティなどは必ずパスワード設定を行って頂き、アプリを開く際はパスワードを入力しないと開けないように設定してもらっています。

管理者が送迎に出ることも多いので、スタッフとミーティングできる時間を共有することが難しいですが、希望を言えば朝礼などもしていきたいという気持ちはあります。

・高齢介護課の方より助言頂きました。

(高齢介護課)

地域の方に認知して頂くということをもっとしていただければと考えています。実際にうまくやっている事例としては回覧板などで「こういう事業所があります。」みたいな情報を地域の方に知っていただくと良いと思います。

(民生委員)

月に2回回覧板なども回っていますので、自治会長さんをお願いをすれば良いと思います。

・当事業所管理者より質問しました。

(当事業所管理者)

防災訓練などに消防団の方などに来てもらったりすることもできるのでしょうか？

(高齢介護課)

詳しくはわかりませんが、施設によっては消防に来てもらったりして訓練をしているところもあるようです。一度、問い合わせして頂くと良いと思います。

以上